

キャリアのためのマテリアル工学論 8223036 栗山淳 講義担当者：小柳先生

概要(400 字)

- ・社会の変化とキャリアについて

これからの先端技術が高度化した社会では論理的思考力・規範的判断力、課題発見・解決能力、未来社会の構想・設計力、高度専門職に必要な知識・能力が求められこれを育成するために大学院レベルまでの教育が必要となってきた。

- ・キャリア形成の2つの考え方について

キャリア形成には山登りといかだ下りがあり、山登りは自分の専門を決めて、その道のプロフェッショナルを目指す方法であり計画的なキャリア形成することができる。また、いかだ下りはゴールを考えずに、目の前の仕事に円力に取り組む方法であり偶発的なキャリア形成することができる。個人のキャリアは主体性や努力によって生み出される偶然の出来事によって形成されるので様々なことに積極的に取り組むことが重要。

- ・理系の進路選択について

学士や修士は技術者になる割合が多い一方、博士は研究者になる人も多い。

- ・企業が理系大学生に求めることについて

企業は短期間で習得可能な資格やスキルよりも獲得に時間のかかる基礎力や性格・価値観を重視している。

感想(400 字)

まだ1年生なので就職はまだ先だが、今日の授業を聞いて社会が人口減少や産業構造の転換、IoT・AI、価値観の多様化によって劇的に変化していく中で企業が求めるものが決まったことを実行する能力より個人で自走して課題解決できる能力が重要となっており大学生の段階で自分から積極的に何か行動を起こして様々な経験をし、その中で自分のしたいことを見つけるキャリア形成をすることが大事だと分かった。僕は昔から主体性や積極性がなく何事も受け身の状態でやっていたのでこれからは自分の目指す方向にある様々の物事に積極的に取り組みながらできることや知っていることを増やし将来の自分のキャリアを形成したいと思います。また、企業によっては専門的な知識などだけではなく変わりにくい個人の特性である基礎力、性格や価値観を重視するところもあります。そのため自分の中身(基礎力、価値観)を大学生時代の4年間でしっかり見つめ、知り将来の自分のキャリアを形成したいと思います。